

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（1）

2. 日時：令和5年2月28日（木）16：00～17：30

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ技術基盤課 照井課長補佐

原子力規制部

原子力規制企画課 大村国際原子力安全規制制度研究官、藤森企画調査官、今田係員
審査グループ実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部 保全計画グループ マネジャー

5. 要旨：

○原子力規制庁から、第1回高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム（以下「検討チーム」という。）会合（令和5年2月22日）での議論について紹介するとともに、検討チームでの議論のとおり事業者からの意見を聴取することから次回以降の検討チームから議題に応じて参加を求めることを要請した。

○原子力事業者等から、検討チームでの議論に参加することについては、第2回高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する意見交換会（令和5年1月11日）で意見を述べたとおりであり、了承した旨の回答があった。

○原子力規制庁から、引き続き次回検討チームに向けて日程調整等を進めていく旨を伝達した。

○原子力事業者等から了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：1回高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム配布資料